

キャラクター名
五十嵐 巖次郎

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	UGN支部長C	カヴァー	工業会社代表取締役
	モルフェウス					
オプション			年齢	48	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	飢餓	初期侵食率	33 %	
出自	貧困	経験	大成功	邂逅	姫宮 由里香	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	2	0	0			2	行動値	5
感覚	4	0	1			5	(非装備時)	6
精神	0	1	0			1	戦闘移動	11
社会	2	0	0			2	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:	2		情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
照準器付きチェーンガン	射撃	6r	0	15		搭乗状態のみ使用可能、同エンゲージに使用不可

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
シューターズジャケット	20	3	-1	-1	射撃判定に+1D

所持品	
錬金秘本	
軍用4WD	
簡易手術キット	
橘くん(使用人)	
コネ:UGN幹部	
コネ:手配師	
コネ:要人への貸し	
茨の冠	
デモンズシード	
コネ:フィン・ブースロイド	

合計装甲: 13 合計回避: -1

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス消費
[24] 超血統/フルブラッドP		N	
恩人/木村 光一郎P	誠意	N 嫉妬	
貧富という概念そのものP	執着	N 敵愾心	
		N	
		N	
		N	
		N	

最大財産P: 6 残り財産P: 35

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
黄金錬成	8	なし	常時	なし	自身	自動	なし	
効果: 常備化Pを+Lv×15、侵食値+3								
砂の加護	6	3	オート	視界	単体	自動	なし	
効果: 判定ダイス+Lv+1、1回/1R								
ペネトレイト	1	3	メジャー	武器	なし	対決	なし	
効果: 装甲無視、判定ダイス-1								
ギガンティックモード	1	3	メジャー	武器	範囲(選択)	対決	なし	
効果: 対象を範囲(選択)に変更								
コンセントレイト:モルフェウス	2	2	メジャー	なし	なし	なし	なし	
効果: C値-Lv								
サイドキック	1							
効果: C値-1、財産P-10、1回/1S								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

日本の工業界をまとめあげる連盟の事務局長の一人。判を押す必要さえなくなった立場から離れ、一応自身がオーヴァードであり、UGNとは個人的な縁があるため、現在は殆どの業務を橘くんに任せながらも、一応は一介の支部長を勤めている。「成果に富むには十全な環境を整え、職員全員的心も豊かにする必要があるので」をモットーにしており、そのために快適な支部と明るい職場を提供できるよう心がけている。秒単位で増え続ける資産も惜しみ無く投入し、クーラーwifi完備に食費交通費その他経費なんでも落ちる。また週休2日有給50日の確約も当然である。このように、いい意味での成金的な側面も強く、それほとにかか鉛筆をぶちまければジャームも死ぬめという彼の戦闘スタイルにも通じるものがある。

幼少期は貧困によって両親と兄を失っており、その絶望の淵にあった彼に「存在しうる鉱物をなんでも産み出せる」という不思議な超能力を与えた。これがオーヴァードの力の一端であることはその時の彼を知る由もなく、混乱したまま訪れた町工場で善良な工場主に負いながらも大切に育てられる。成長するにつれ、少年ながらにこのままでは搾取されるばかりで皆で豊かになることができないうこの世の摂理を悟り、いつしか大企業を立ち上げることを夢見る。そして、転機が訪れる。とある妙齢の女性から手渡された古ぼけた一冊の本。そこには自分の力の使い方が全てが書かれていた。それと同時に訪れた第一次稀少金属危機に乗り、名家からの出資金と半永久的に手に入る資材を元手に広範囲で様々な分野に手を出す巨大工業会社を立ち上げ、いつしか日本の工業界の顔ともいえる地位に君臨した。急速に金をもつようになった結果、誰にでも優しく振る舞えるだけの心の余裕が持てるようになったことに安堵しながらも、貧困に悩まされていた自分とは大きく異なる自我や価値観を持つようになったことに多少なりとも負い目を感じている。